

# RIAS

Research project for prospective Investigation of health problems  
Among Survivors of the great east Japan earthquake

## 結果概要

(～R1年度)

---

岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座

坂田 清美

# 被災者健診の受診状況

受診者数 (人)

---

	合 計
2011年	11,123
研究参加同意者	10,475
同意率(%)	94.2
2012年	7,616
2013年	7,136
2014年	6,720
2015年	6,507
2016年	6,157
2017年	5,893
2018年	5,638
2019年	5,420

---

# 健診受診者年齢分布（現在の居住形態別）

- 9年間すべての健診を受診した者 (n=3,613)

居住形態 (R1)		人数	年齢 (歳)	
			平均±標準偏差	最小値 - 最大値
震災前と同じ	男	725	72.4±10.3	29-93
	女	1377	69.4±10.1	32-91
	合計	2102	70.5±10.3	29-93
仮設住宅	男	22	66.4±11.5	44-88
	女	24	67.3±11.3	41-89
	合計	46	66.9±11.3	41-89
災害公営住宅	男	63	71.7±11.6	42-96
	女	157	72.7±10.1	39-92
	合計	220	72.4±10.5	39-96
その他	男	446	70.0±12.1	28-93
	女	796	68.0±11.6	28-91
	合計	1242	68.7±11.8	28-93

# 現在居住形態別 対象者の特徴：経時変化

□経時変化：2011-2019年すべての健診を受診した者  
(n=3,613, ※年齢調整有病率)

※年齢調整（間接）

$$\frac{\sum_j x_j}{\sum_j P_j \times n_j} \times C$$

V.S. 全国

x<sub>j</sub>: 観察集団の総事象数 (ex. 総有病者数)

p<sub>j</sub>: 基準人口の年齢階級層別率 (ex. 年齢別有病率)

n<sub>j</sub>: 観察集団の年齢階級別人口

C: 基準人口集団の粗率

## 基準人口データ出典

- ✓ 国民健康・栄養調査 H26  
肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症（治療中、もしくはHDL<40）、  
脂質異常症（non-HDL≥170）、喫煙、飲酒、運動（\*参考値）
- ✓ 国民生活基礎調査 H25  
こころの健康、主観的健康観
- ✓ インターネット調査・職場調査 N=10,424人 (Sleep Medicine 2005:6(1):5-13) )  
睡眠（\*男女計の粗率）

# 経時変化：1) 健診所見 ①

震災前と同じ住居群と比較して：

- 肥満(BMIが25以上)の者は、仮設住宅・災害公営住宅群で男女とも多く災害公営住宅群では増加傾向、全国平均より有所見者が多かった
- 高血圧の有所見者は、全国平均と同程度で横ばいに推移
- 糖尿病の有所見者は、仮設住宅群の女性、災害公営住宅群の男性で多く、全国平均より有所見者が多かった

## 経時変化：1) 健診所見 ②

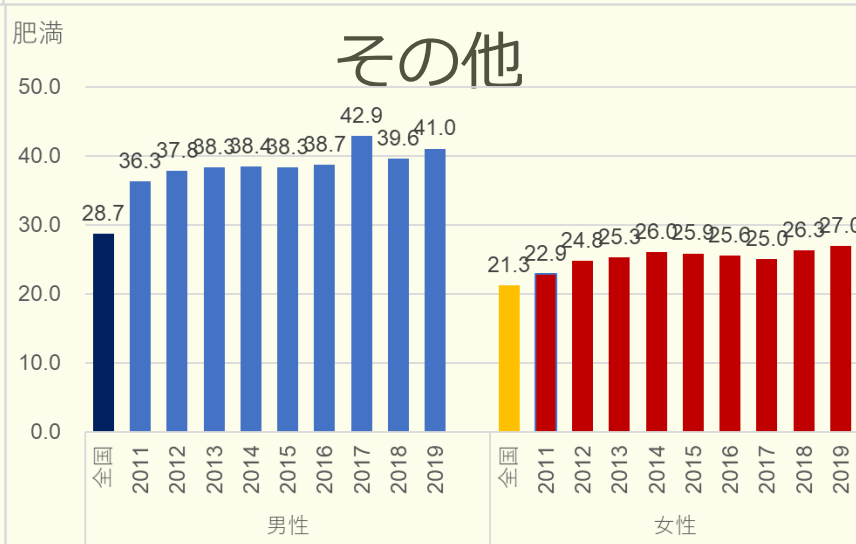
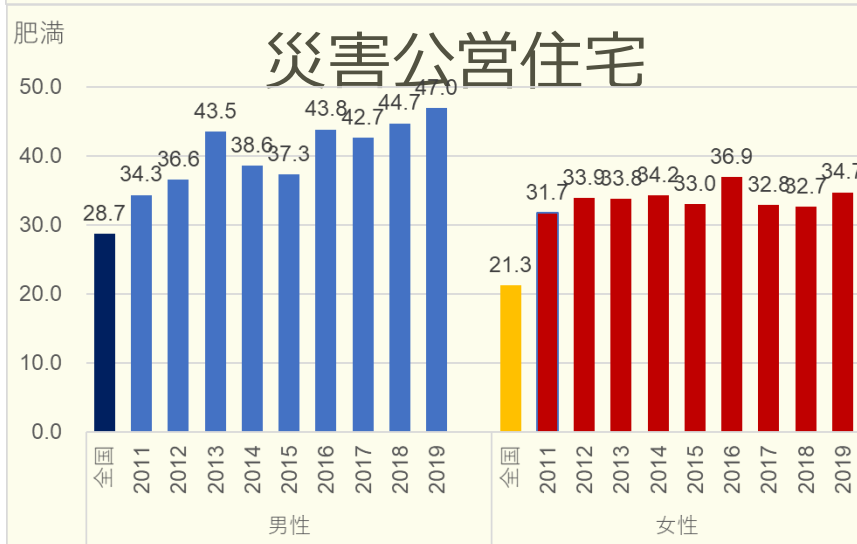
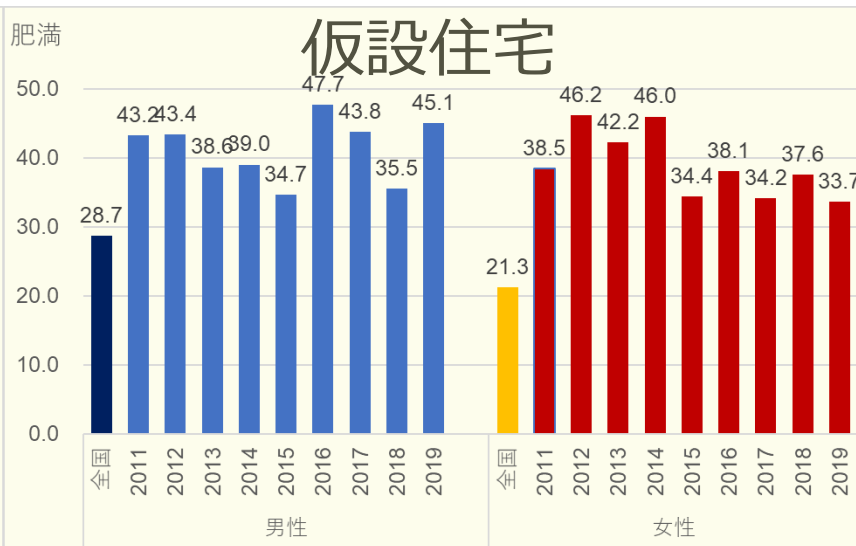
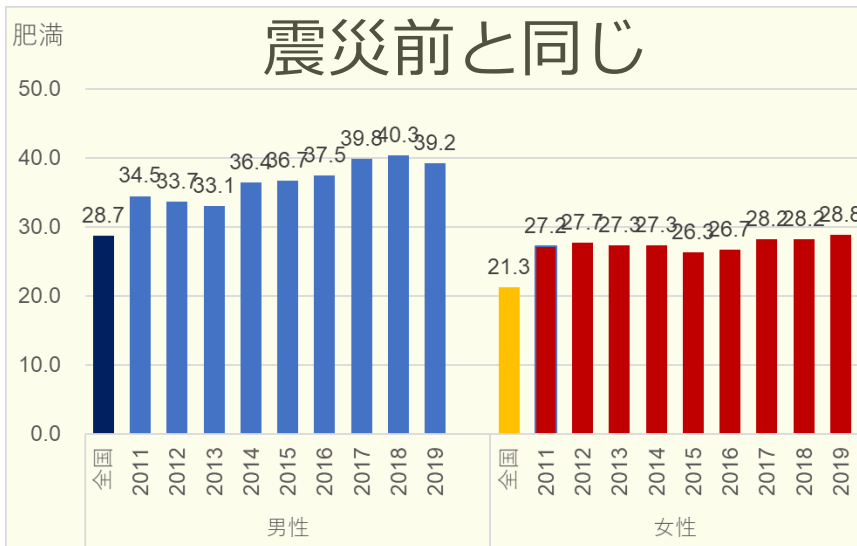
震災前と同じ住居群と比較して：

- 脂質異常症（ $\text{non-HDL} \geq 170$ ）の有所見者は、仮設住宅群で男女とも、災害公営住宅群は男性で多く増加傾向、全国平均より有所見者が多かった
- 脂質異常症（治療中、 $\text{HDL} < 40$ ）の有所見者は、仮設住宅群の男性で多く、全国平均より有所見者が多かった

# 肥満

BMI ≥ 25

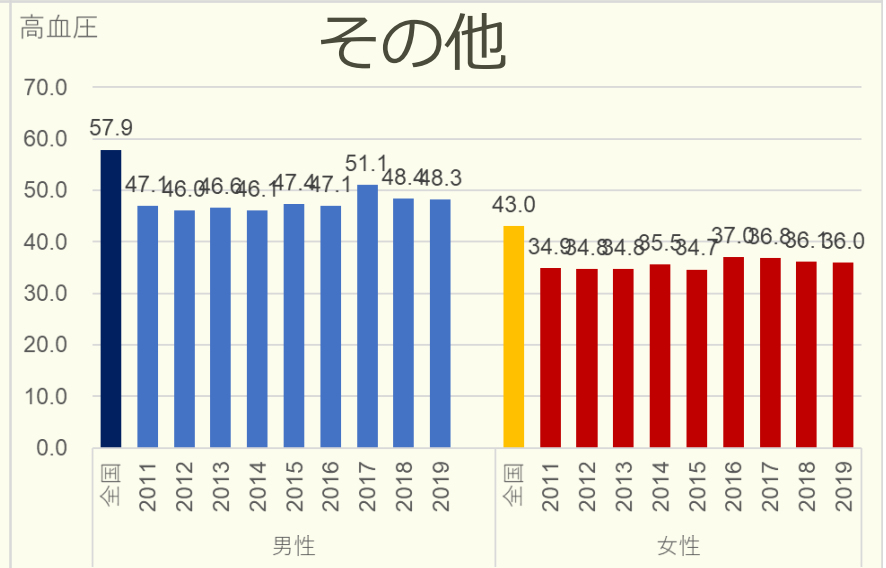
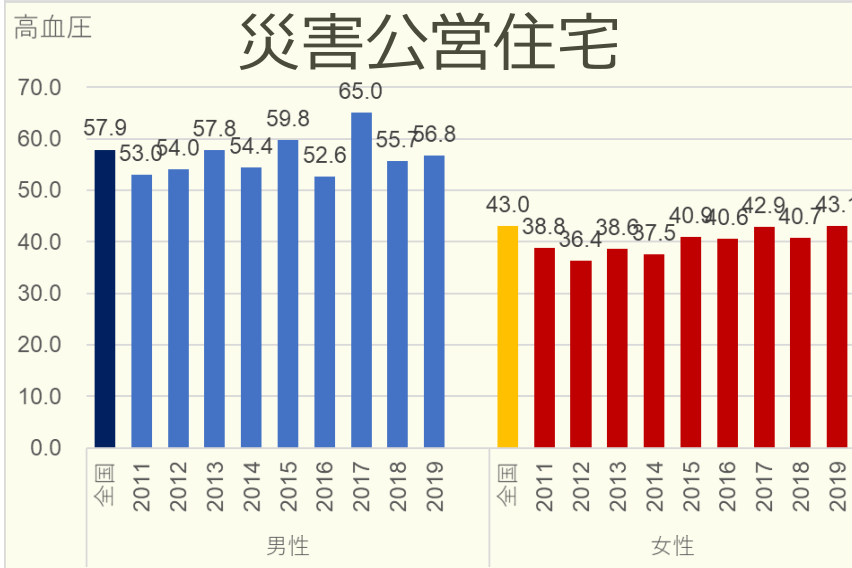
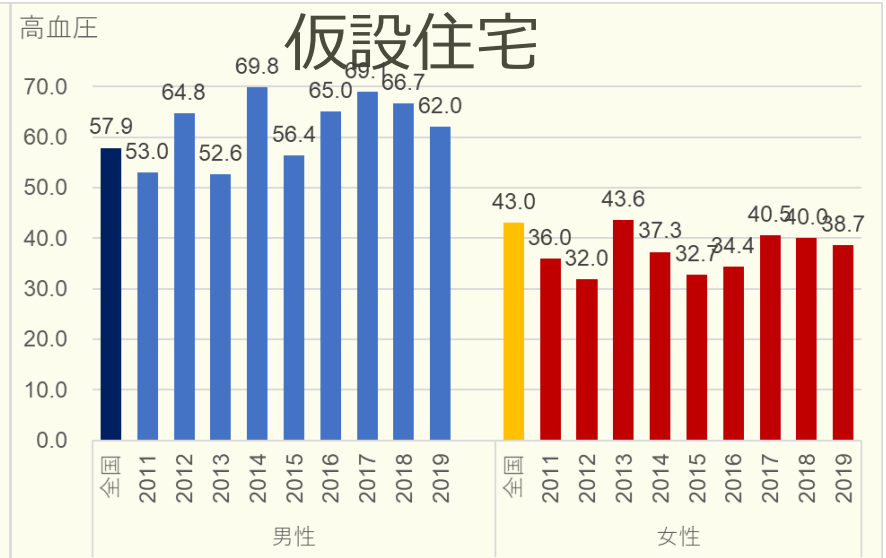
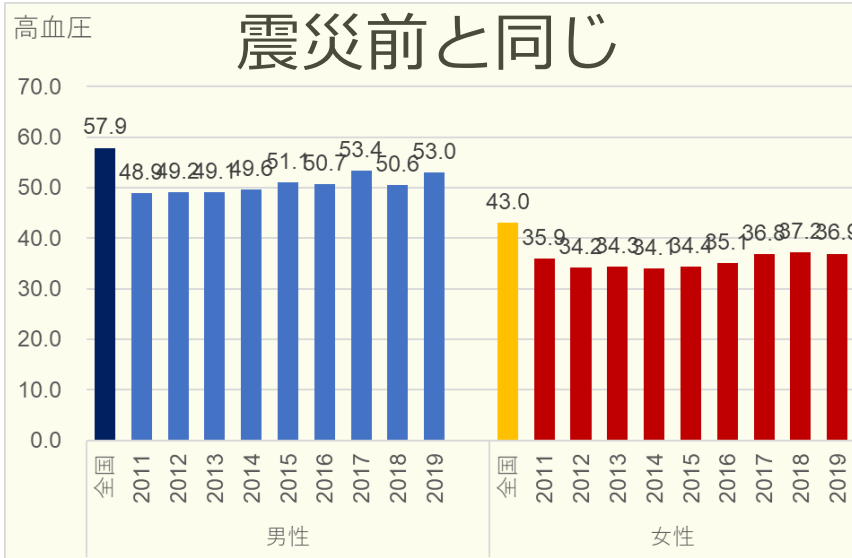
(%)



# 高血圧

治療中、SBP/DBP  $\geq$  140/90

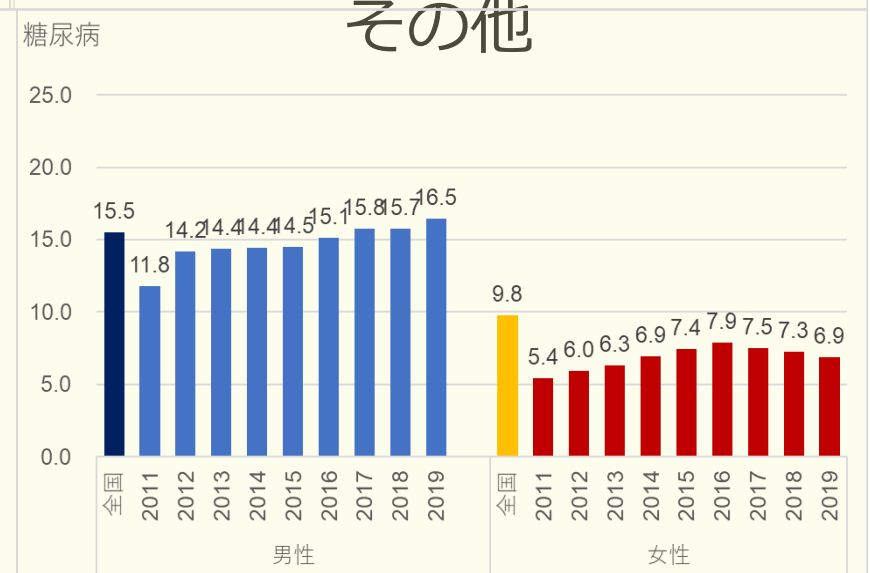
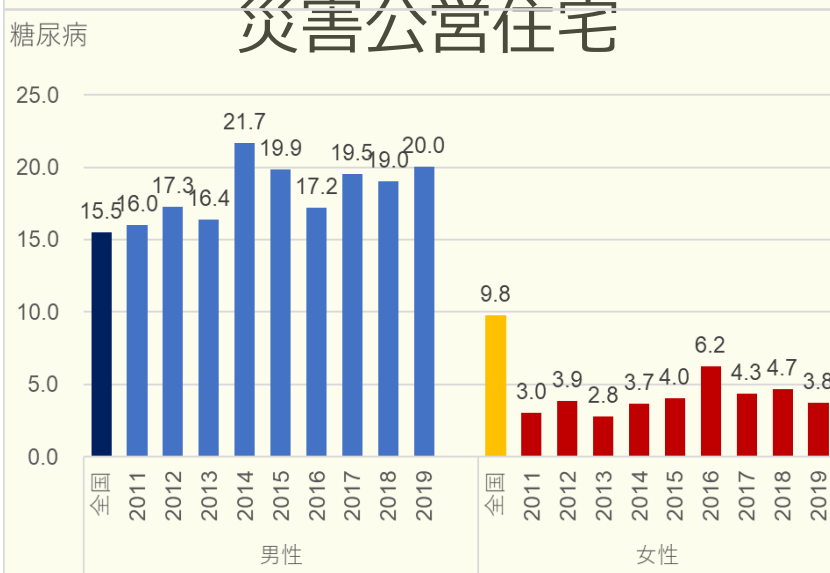
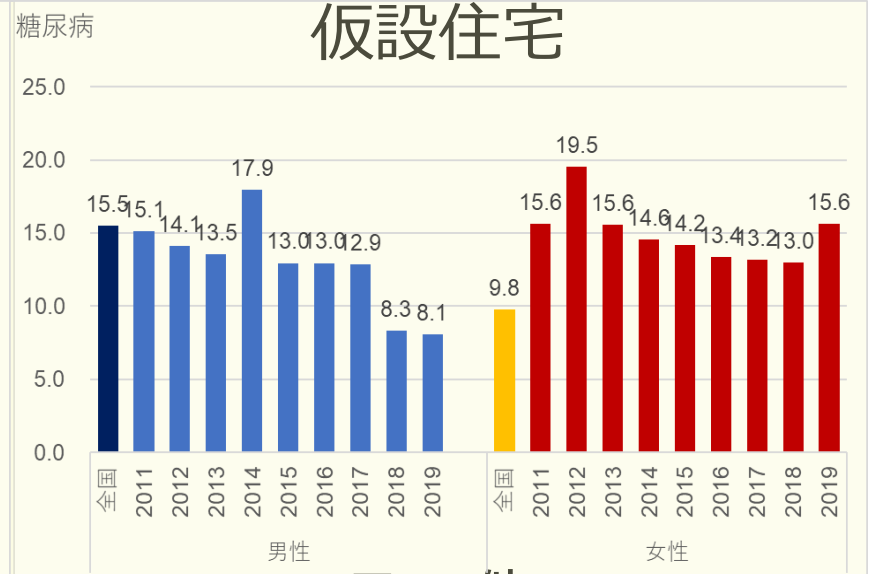
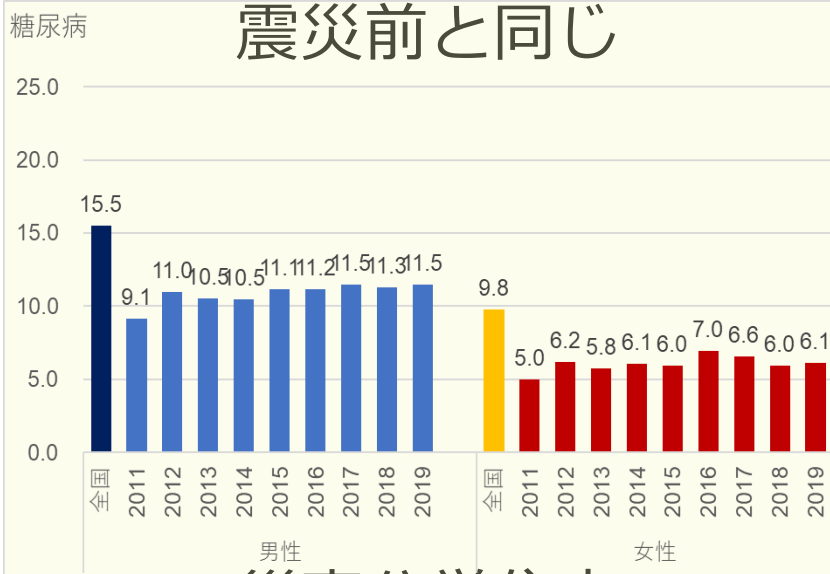
(%)





# 糖尿病

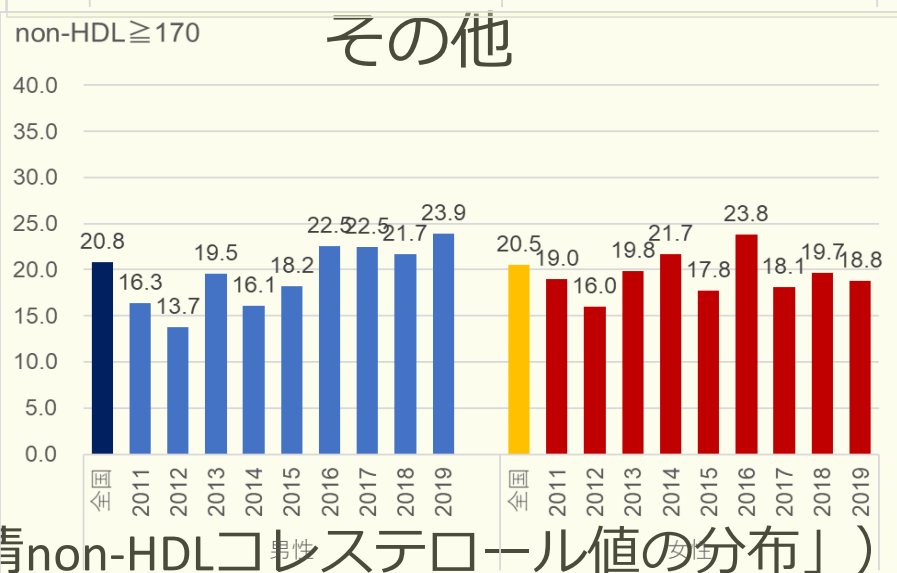
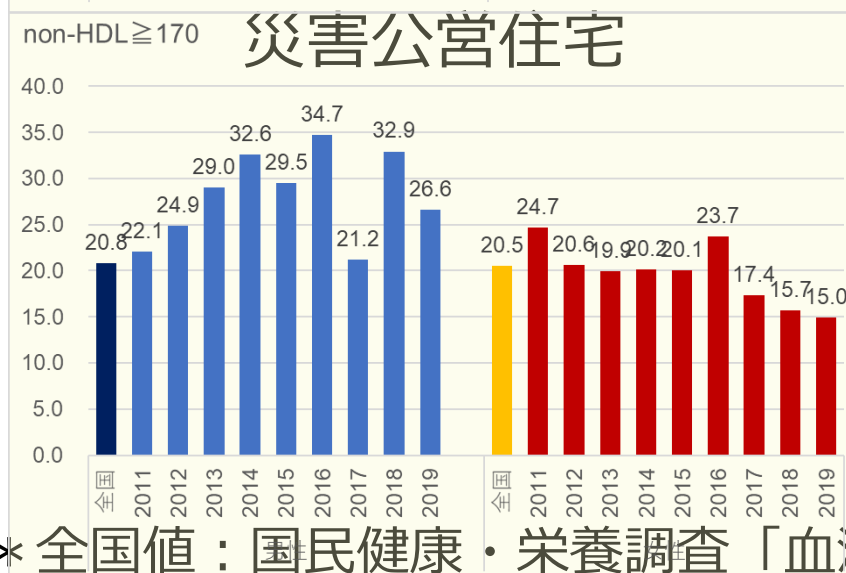
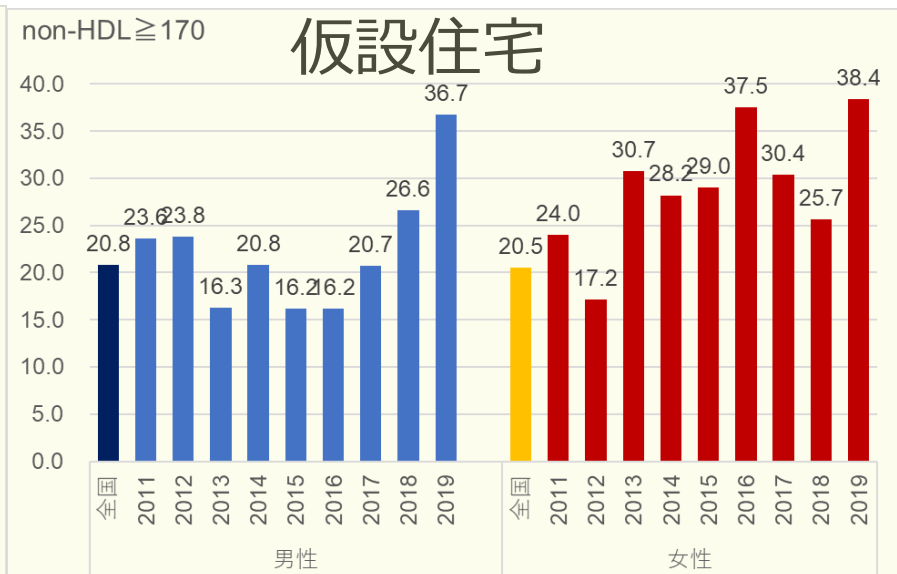
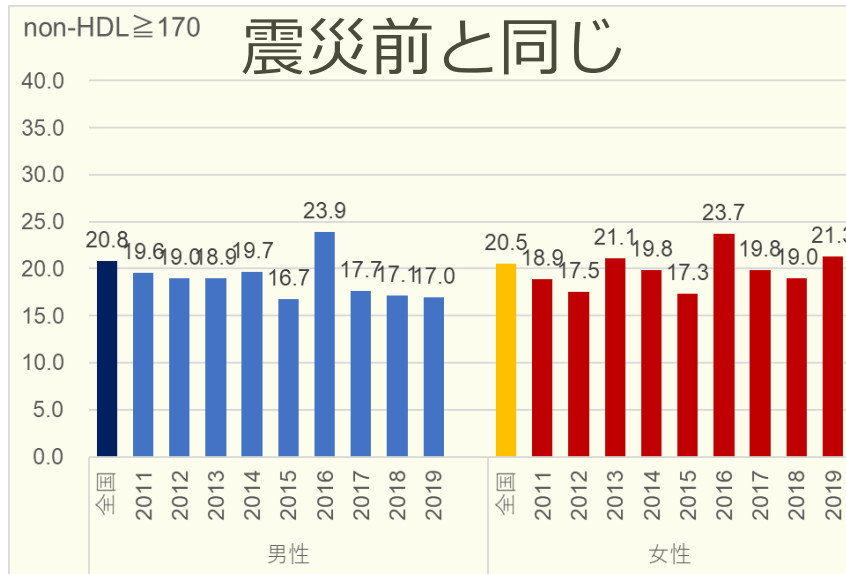
治療中、血糖値  $\geq 200$ 以上、HbA1c  $\geq 6.5$  ( ~2012  $\geq 6.1$  ) (%)



# 脂質異常症

## non-HDL $\geq$ 170

( \* 治療 ( 服薬 ) 中の者でも基準値以下の者は含まない ) (%)

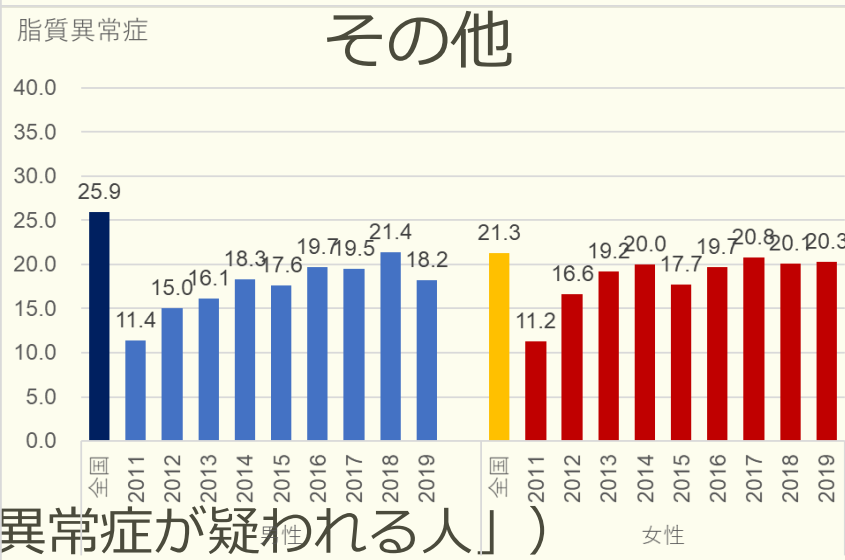
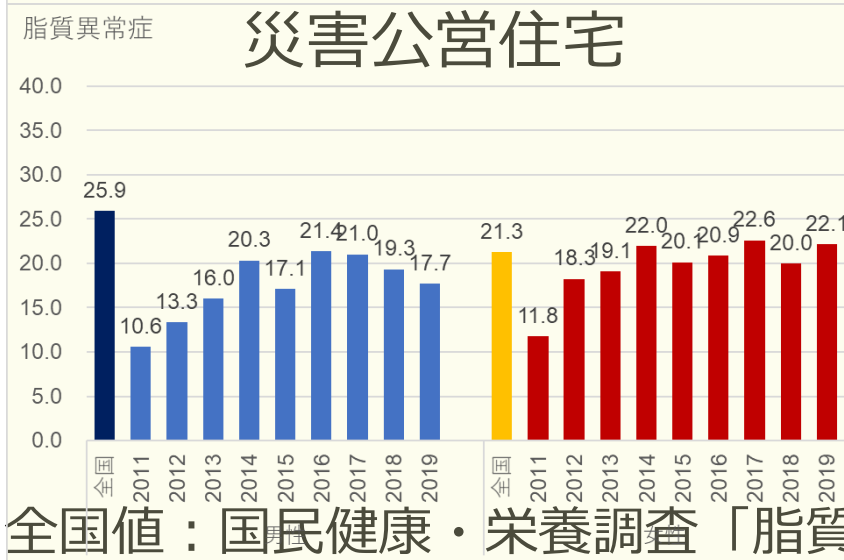
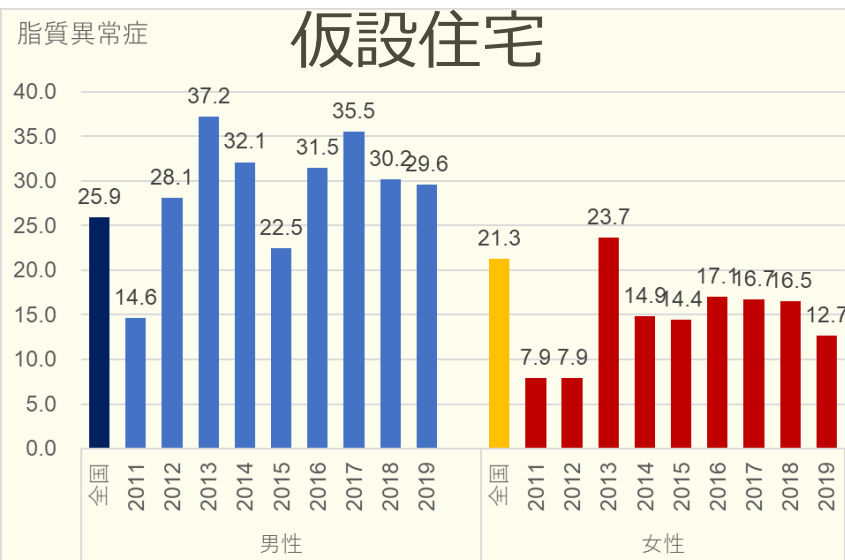
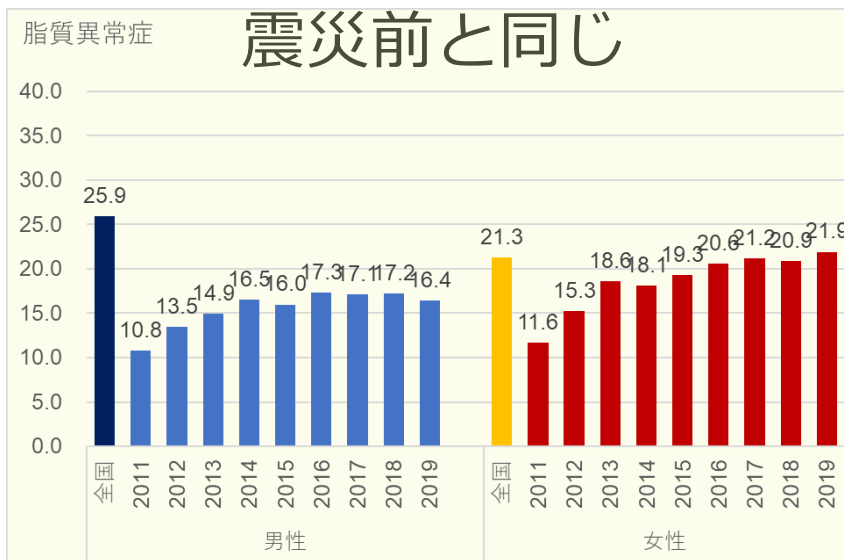


( \* 全国値 : 国民健康・栄養調査「血清non-HDLコレステロール値の分布」 )

# 脂質異常症

## 治療中、HDL < 40

(%)



( \* 全国値：国民健康・栄養調査「脂質異常症が疑われる人」 )

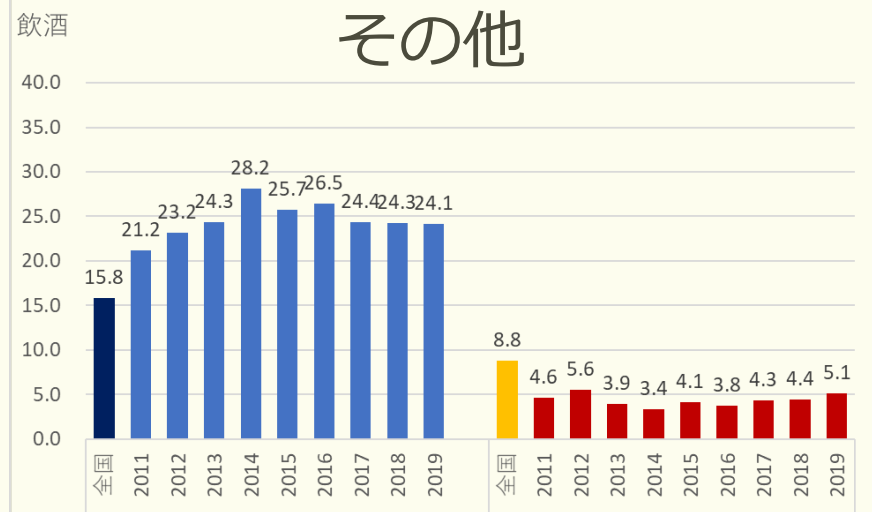
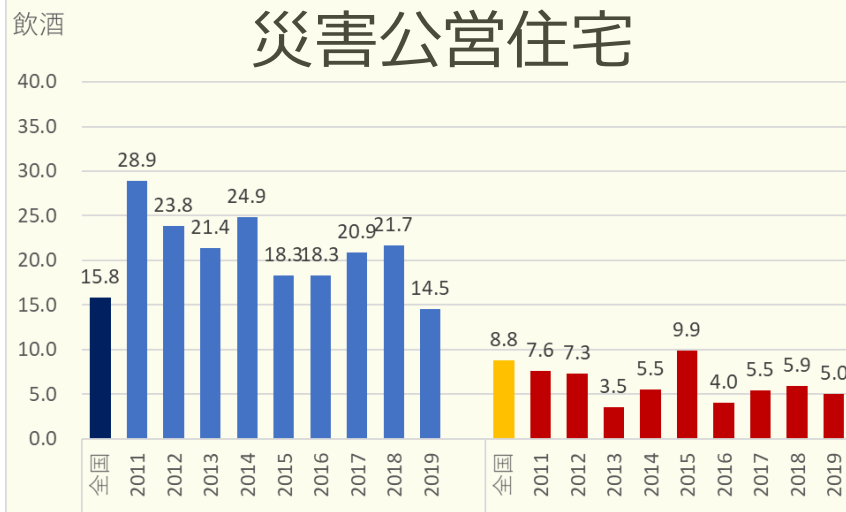
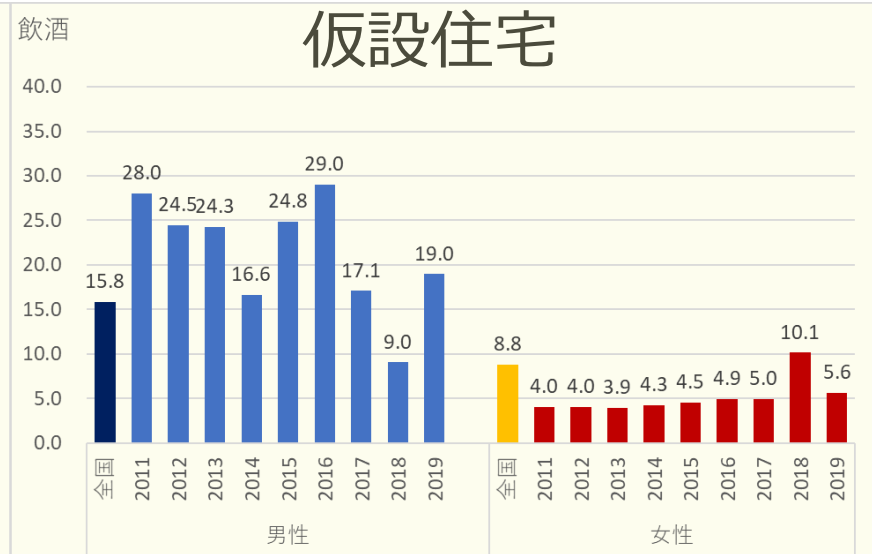
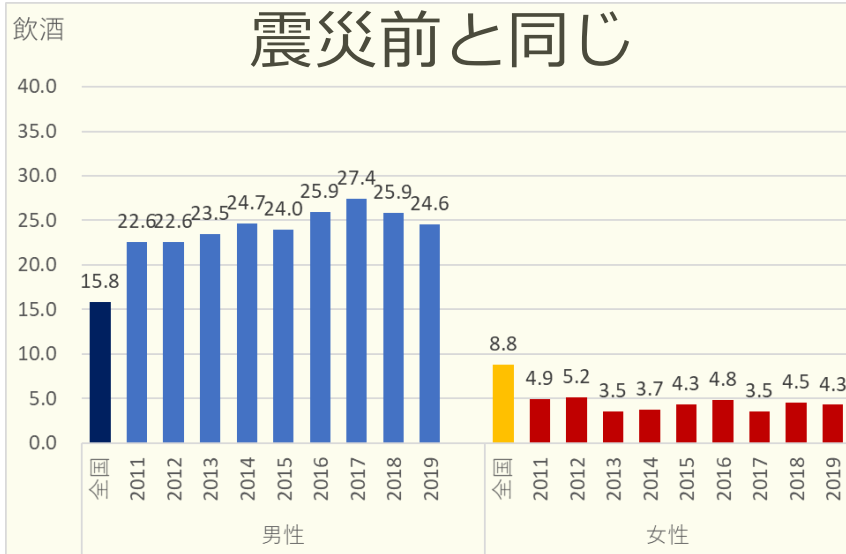
## 経時変化：2) 生活習慣

- 飲酒量が多い者(1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性20gで以上)は、**いずれの群でも男性では全国平均より多く**、横ばいに推移
- 喫煙者は仮設住宅群の女性で全国平均より多く、災害公営住宅群では男女とも全国平均と同程度で推移
- 運動している者の人数は災害公営住宅群でやや少なく、**いずれの群も2011-2014年にかけて増加後に微減傾向**
- \* 「運動している者」の基準が本調査と全国調査で異なるため、比較する際、割合は参考値として参照ください。

# 飲酒量：純アルコール摂取量

## 男性 $\geq 40\text{g}/\text{日}$ 、女性 $\geq 20\text{g}/\text{日}$

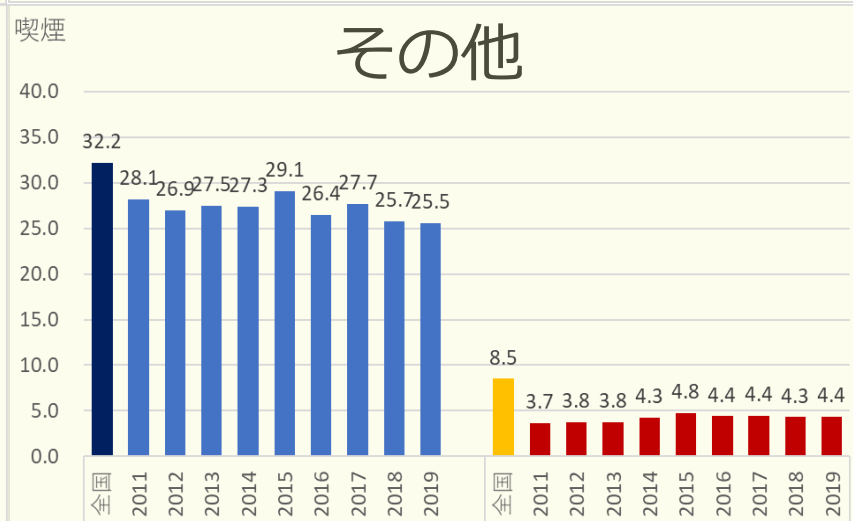
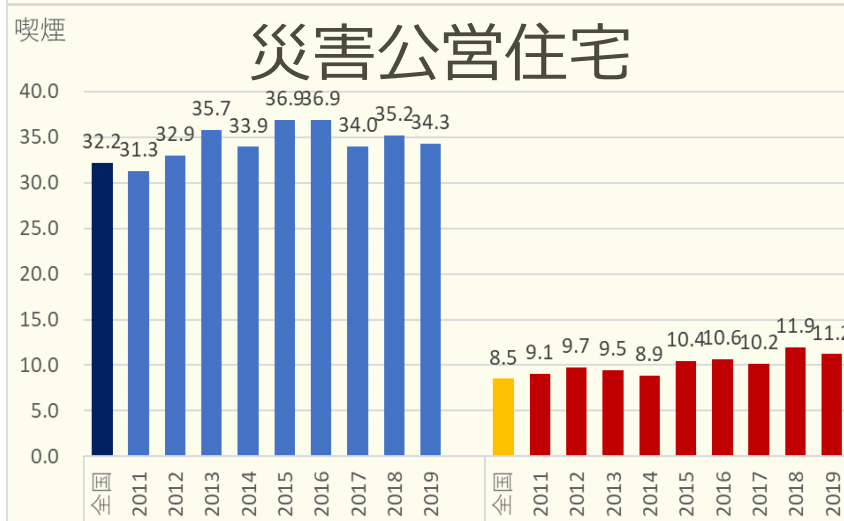
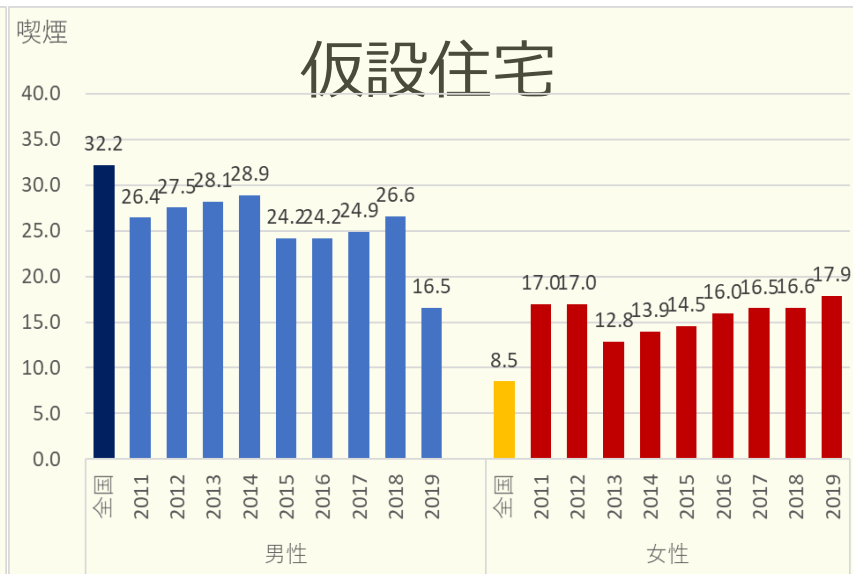
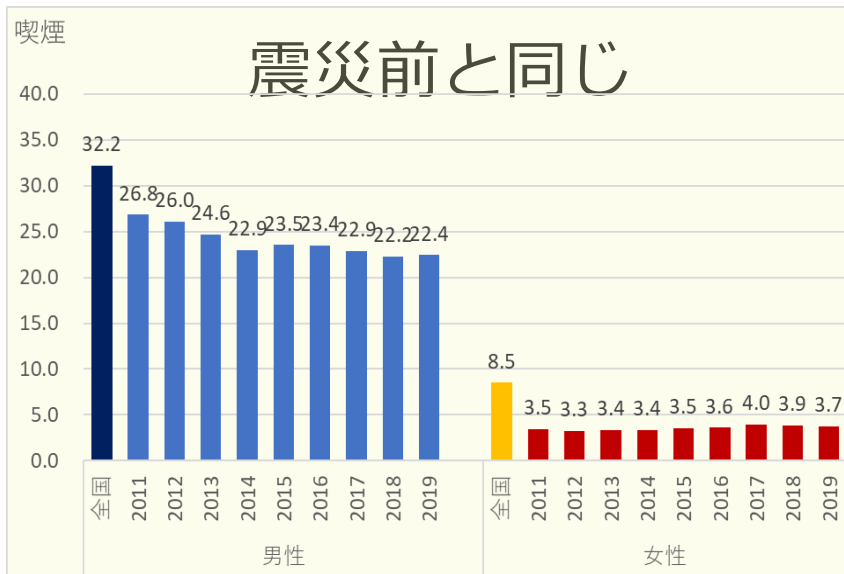
(%)



(\* 全国値：国民健康・栄養調査「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合」)

# 喫煙している者

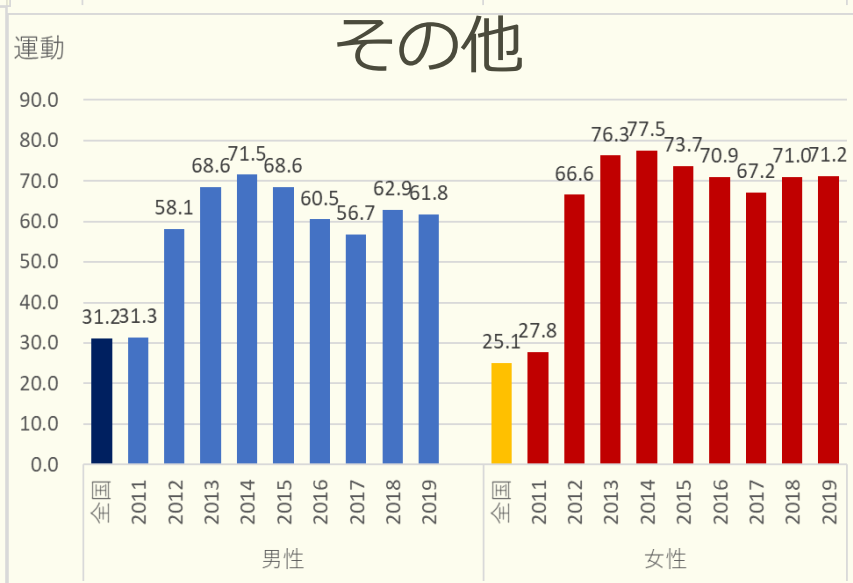
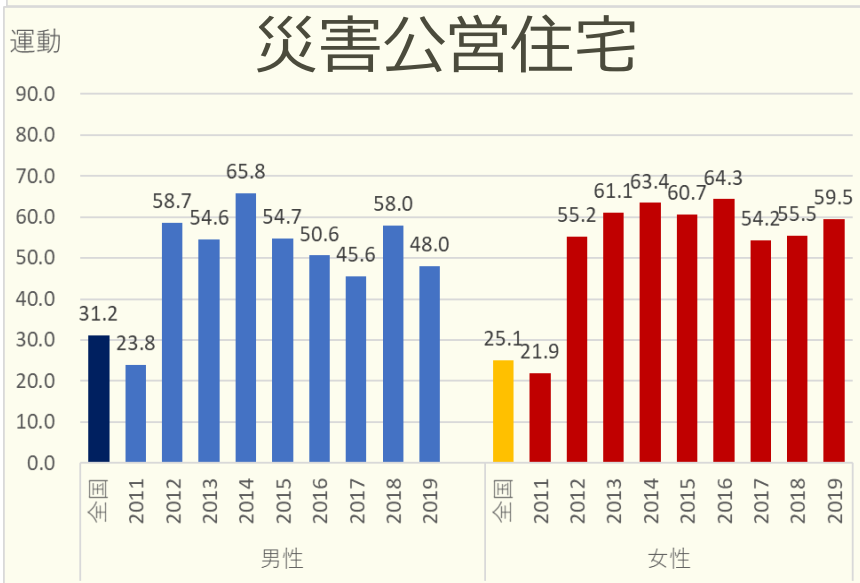
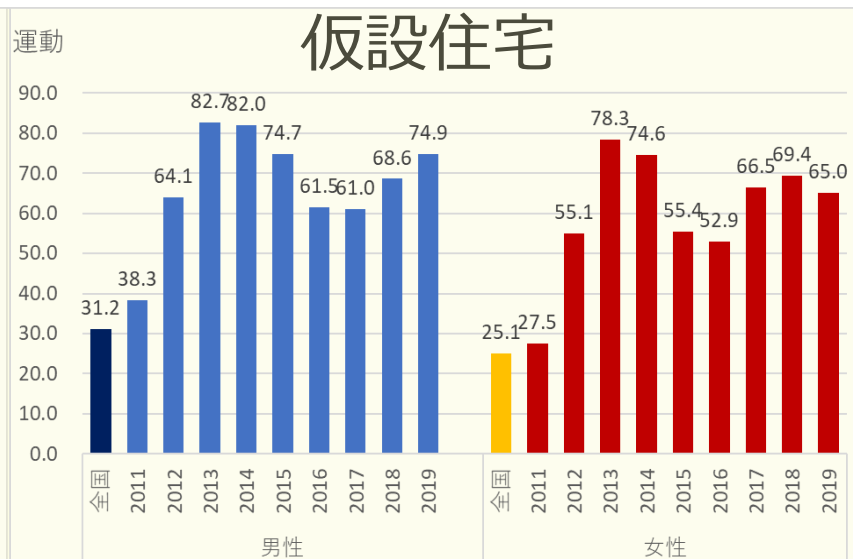
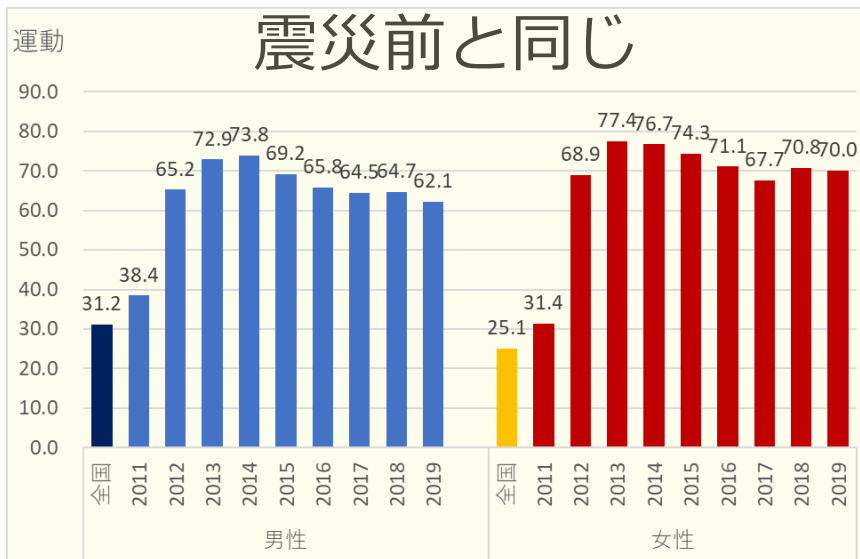
(%)



(\* 全国値：国民健康・栄養調査「喫煙の状況（習慣的に喫煙している者の割合）」

# 運動している者（週23メッツ・時相当）

（全国データ（参考）：1回30分以上の運動を週2回1年以上継続）（%）



• 【8】現在の活動状況についておたずねします。

(14点以上で23メッツ・時 / 週相当以上) \* RIAS調査票の項目

(1) そうじをしたり、重いものを持ち上げたりするなど、体を使うような仕事をしていますか。(選択肢1~5 → 5~1点)

1. ほぼ毎日
2. 週3日程度
3. 週1日程度
4. 月1日程度
5. ほとんどしない

(2) 仕事を含め、平均してどれくらい外出していますか。

(選択肢1~5 → 5~1点)

1. ほぼ毎日
2. 週3日程度
3. 週1日程度
4. 月1日程度
5. ほとんど外出しない

(3) 歩く時間は、1日平均してどれくらいですか。

(選択肢1→5点、2→3点、3→1点)

1. 1時間以上
2. 30分~1時間
3. 30分以下



## 経時変化：3) 心理社会的要因 ①

- ところどころの健康（K6：5点以上）は発災年は男女とも全国平均より多かったがその後は減少、しかし仮設住宅の女性、災害公営住宅群では男女とも全国平均より多く、再びやや増加傾向か
- 不眠（アテネ不眠尺度：6点以上）は発災年に女性で全国平均より多かったが、その後は男女ともに減少傾向

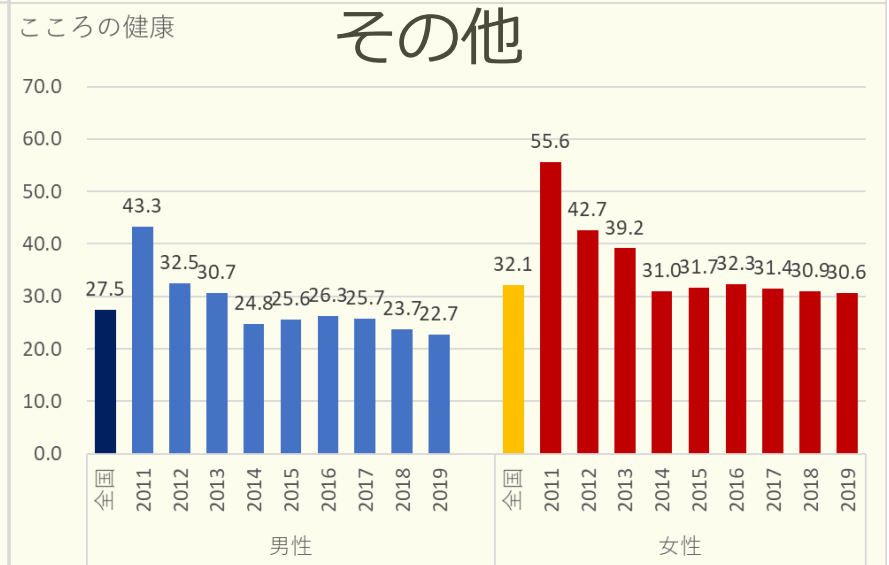
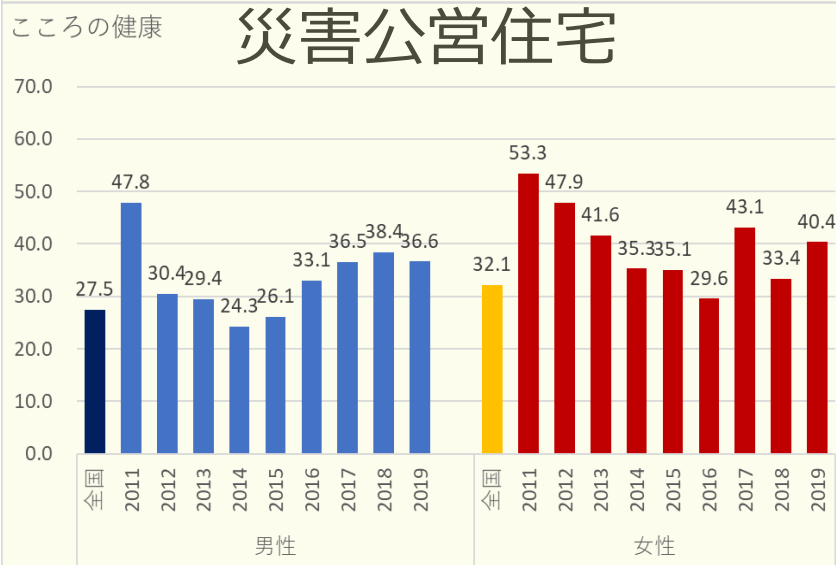
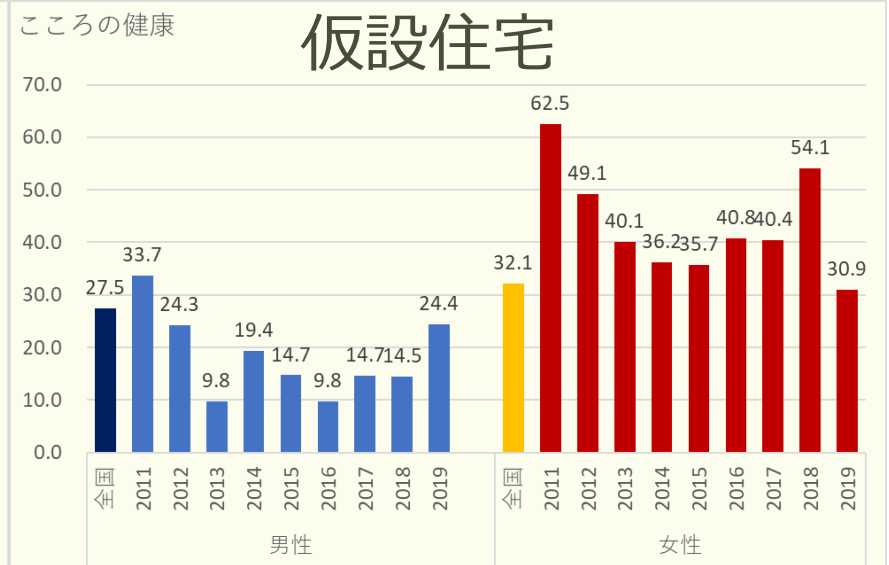
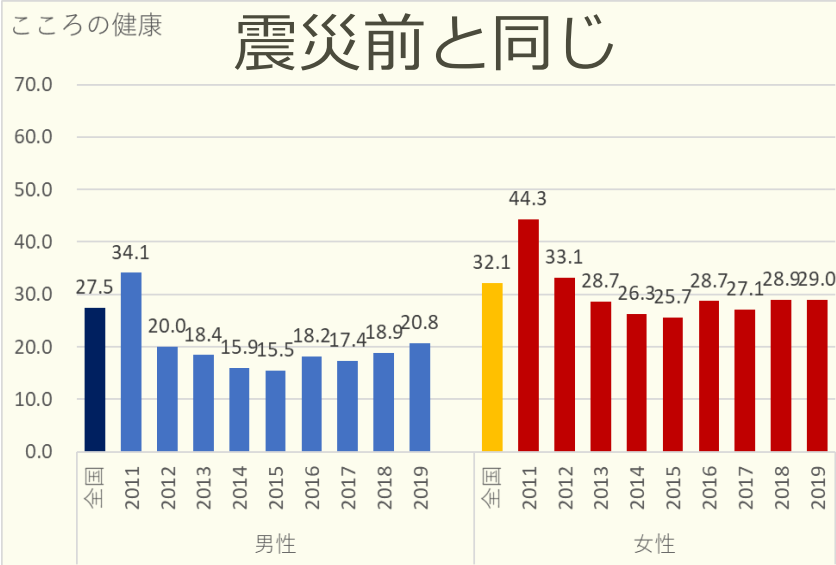
## 経時変化：3) 心理社会的要因 ②

- 主観的健康観が不良な者は、仮設住宅群の女性が多かったが、現在は全国平均と同程度で推移
- 社会的支援が不足している者は減少傾向だが、災害公営住宅群の男性では多く、近年は横ばいの推移
- ソーシャルキャピタル（周囲の人々の助け合い等）は災害公営住宅群の男性で低く、また仮設住宅・災害公営住宅群では年ごとの変動が大きかった

# こころの健康 「不健康」

K6得点  $\geq 5$ 点

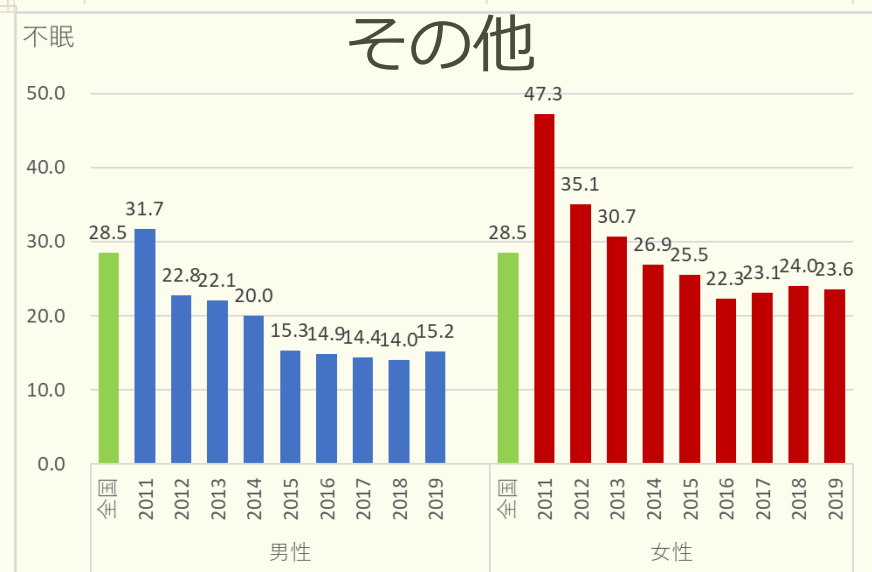
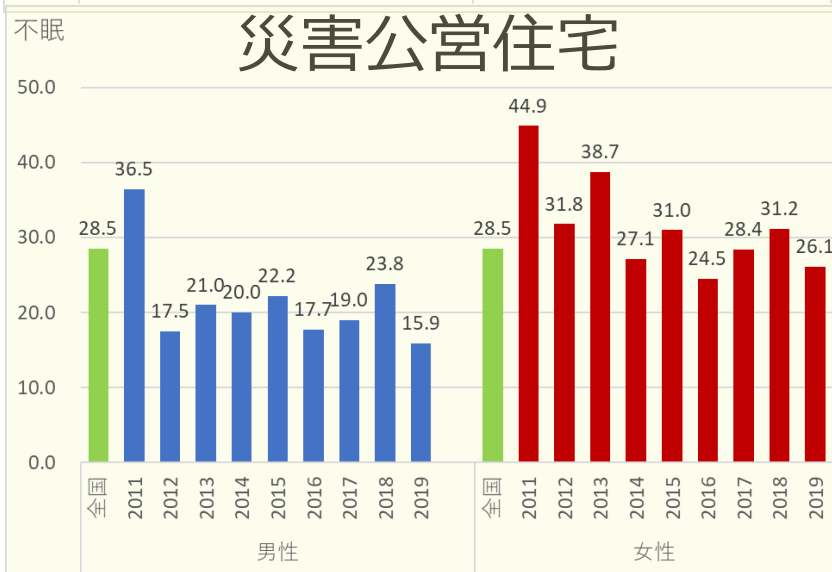
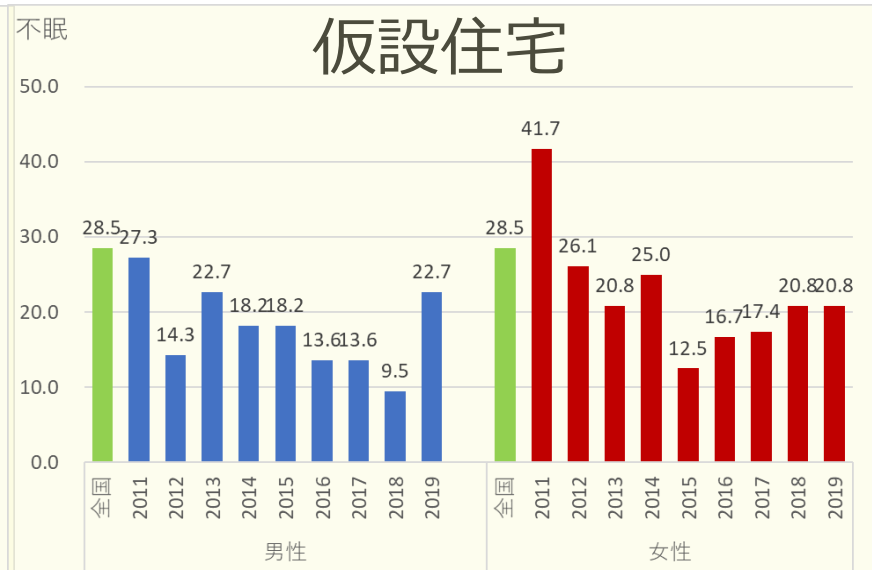
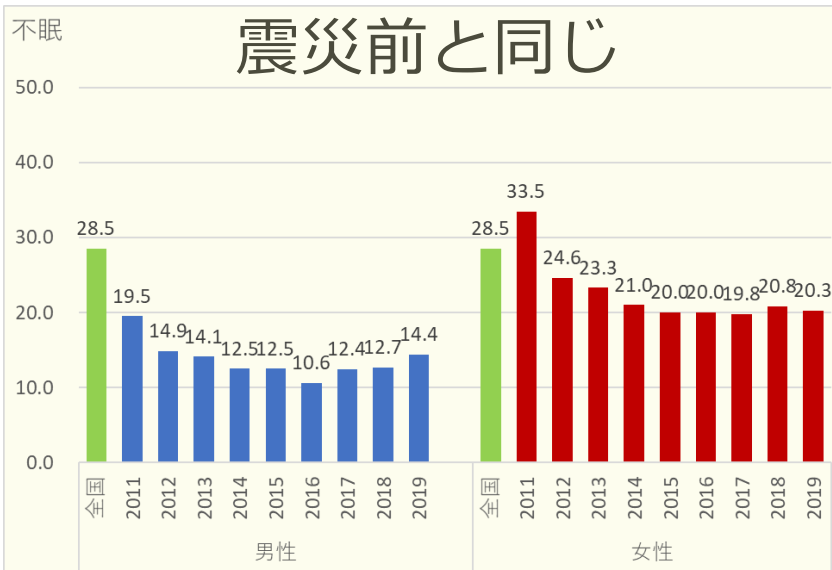
(%)



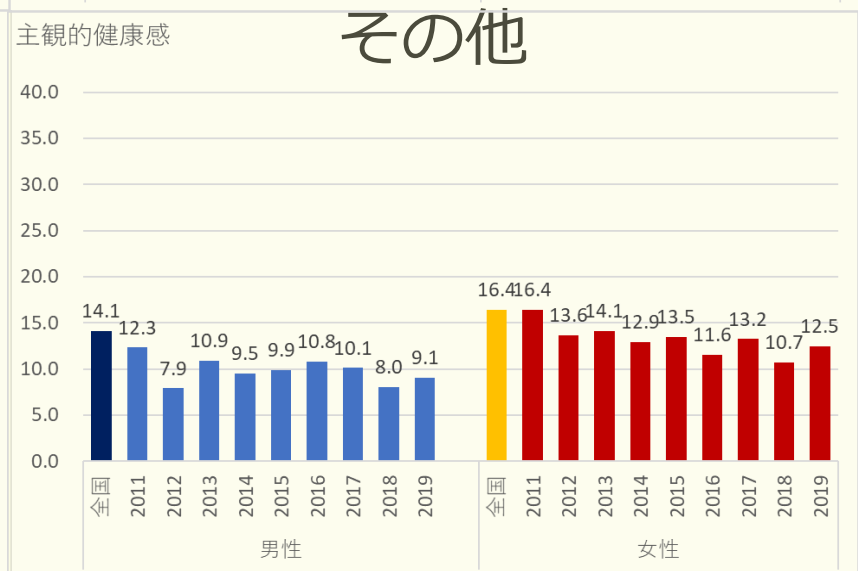
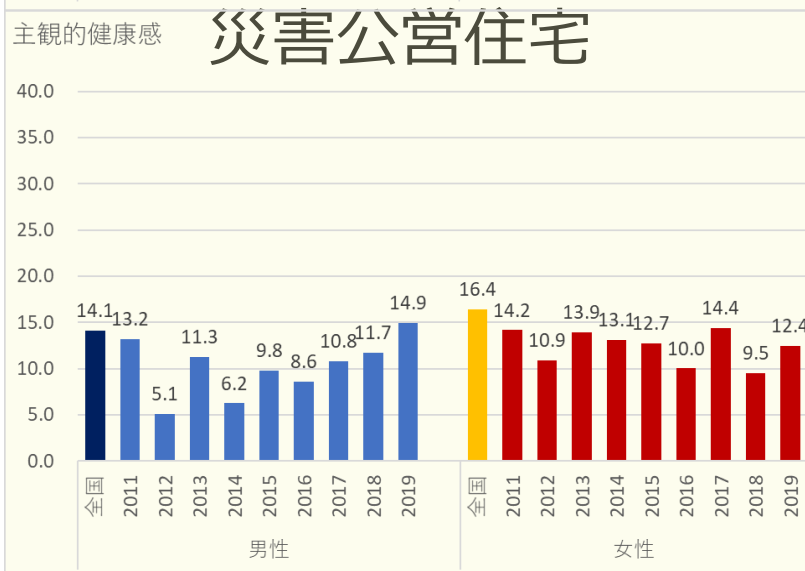
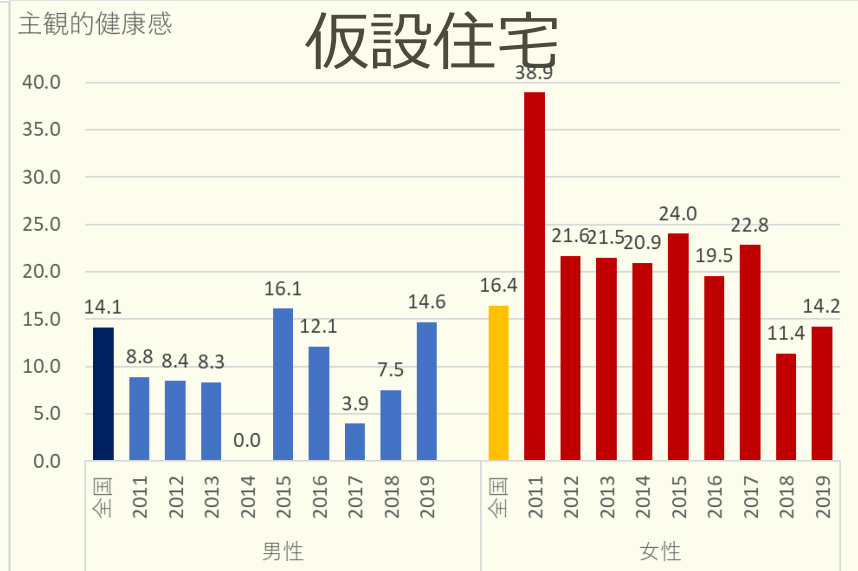
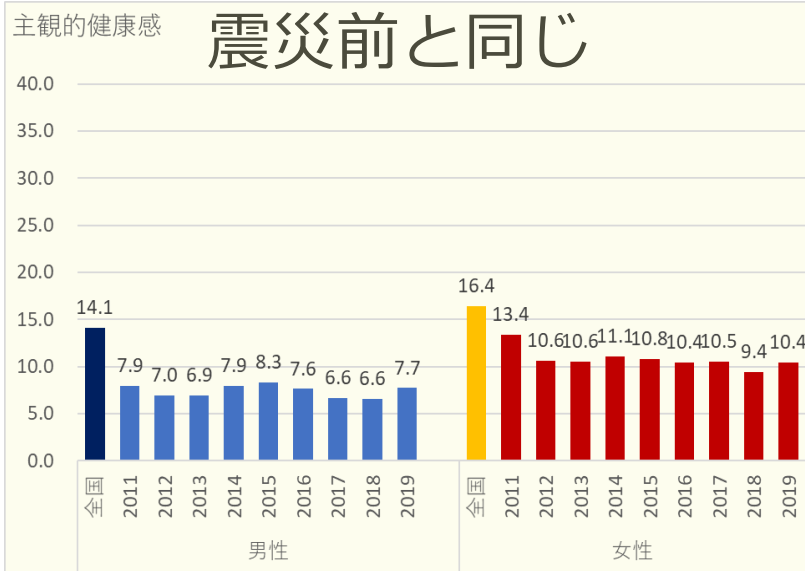
# 不眠（アテネ不眠尺度得点 ≥ 6点）

（粗率, 全国データは男女計）

（%）

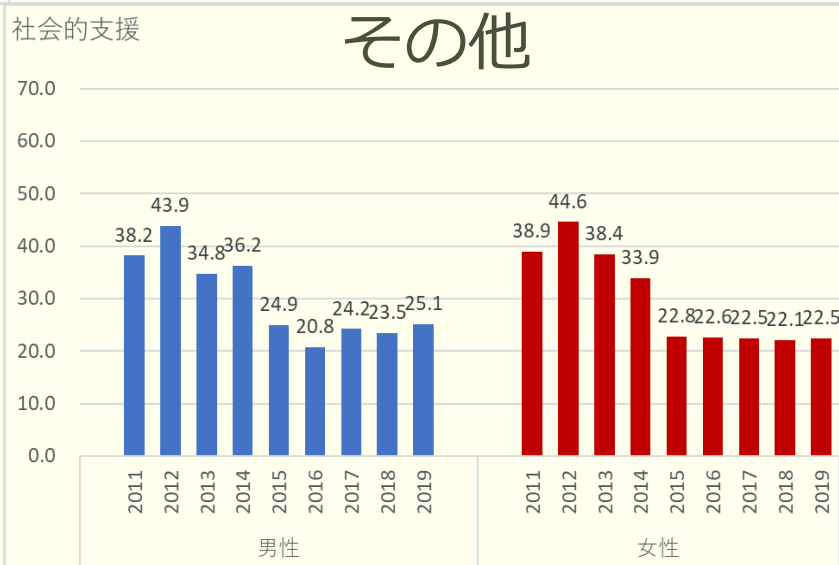
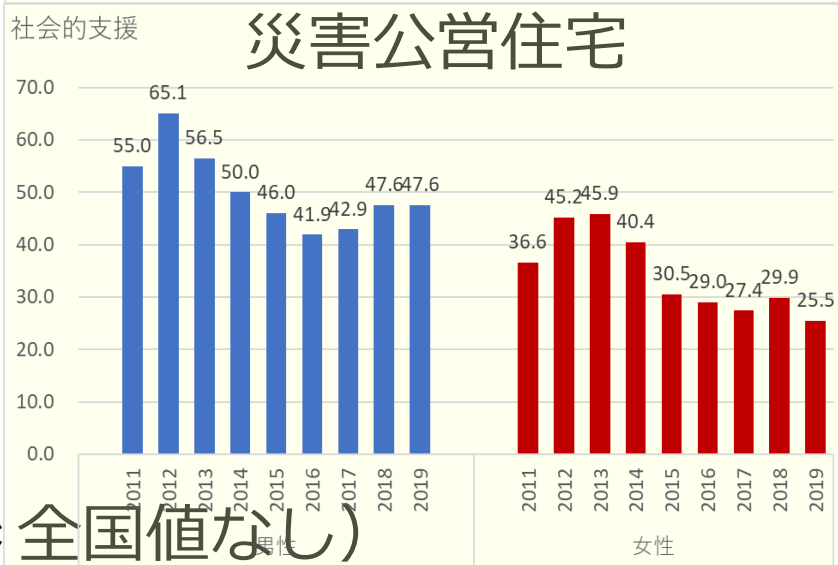
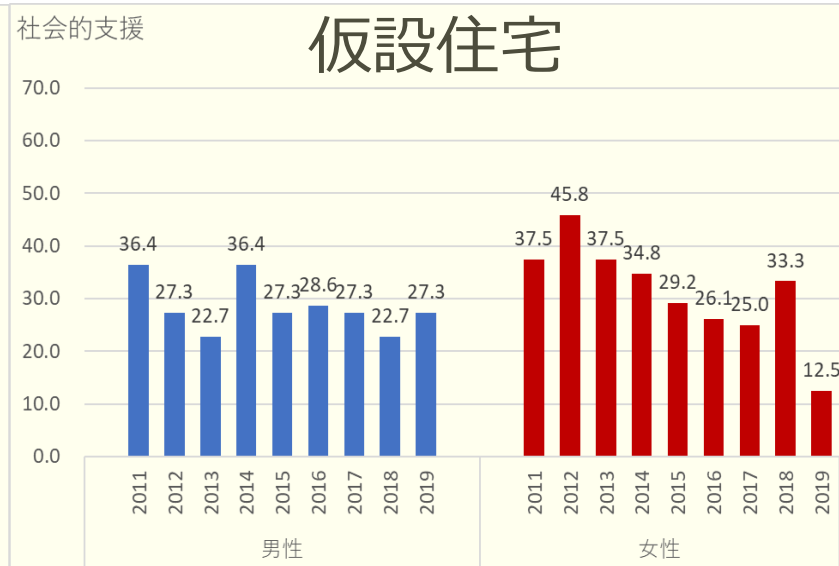
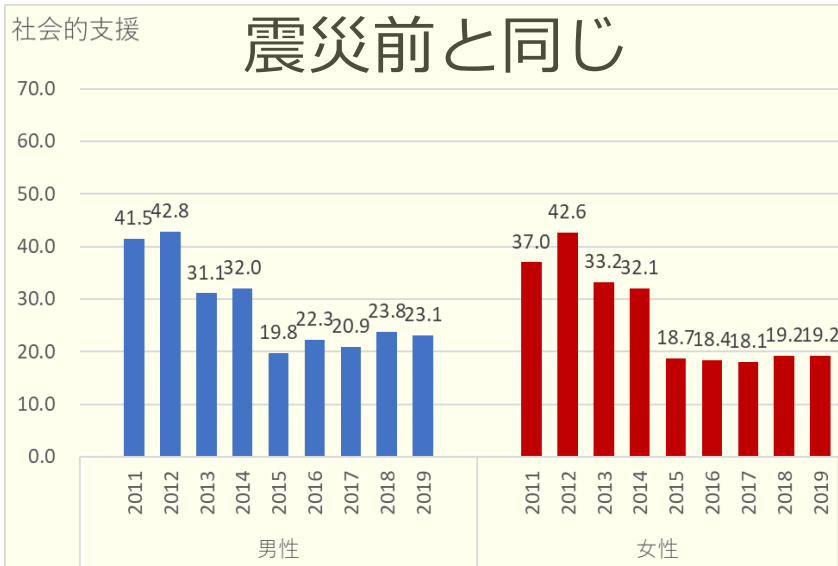


# 主観的健康感が不良な者 (%)



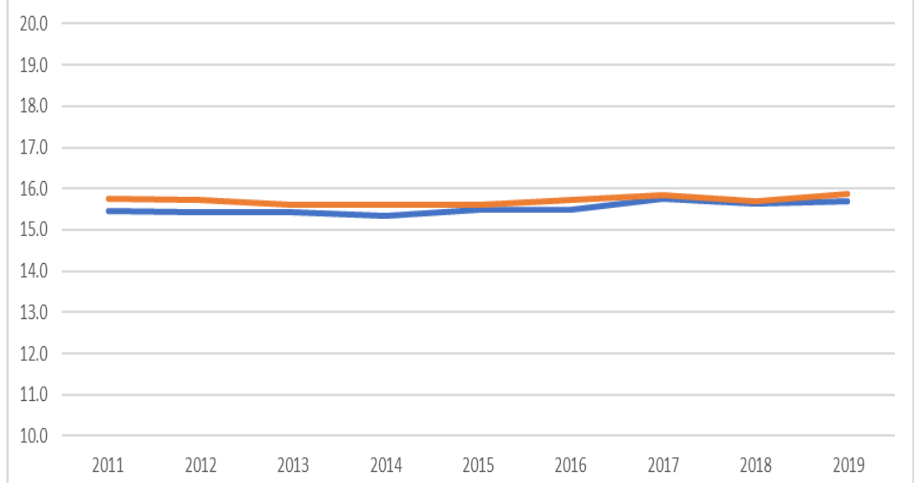
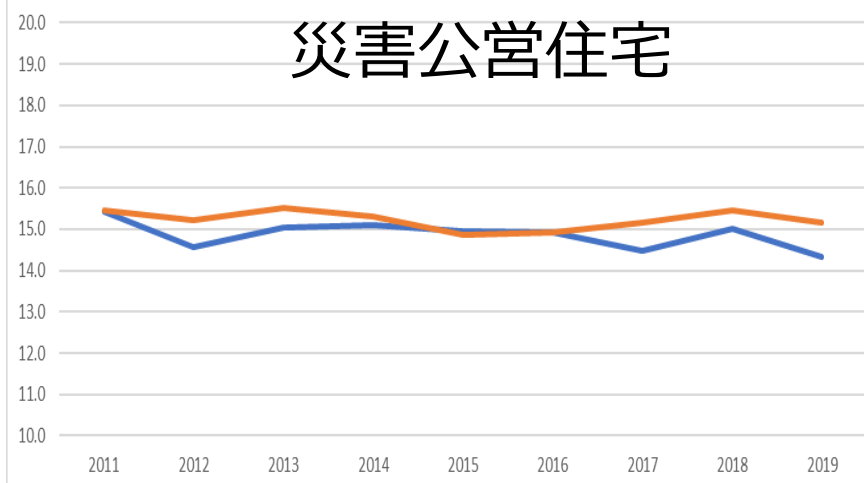
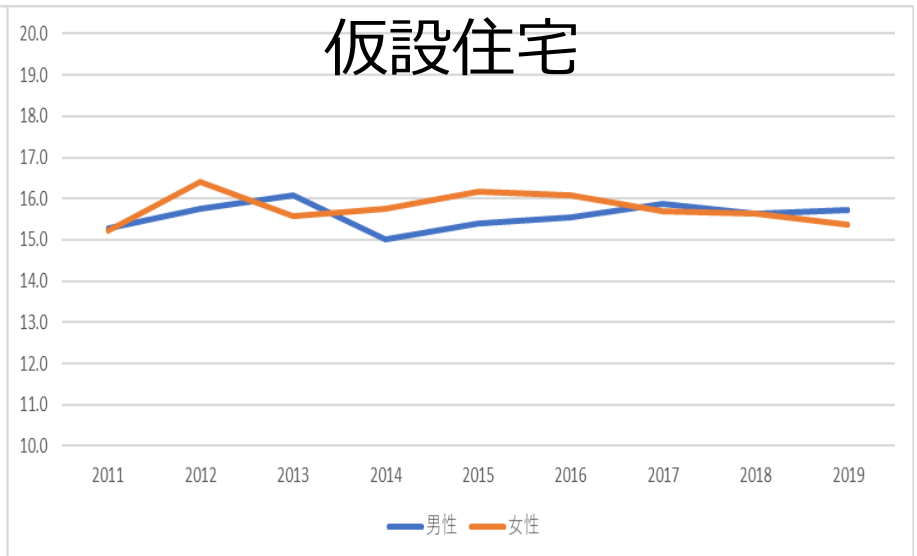
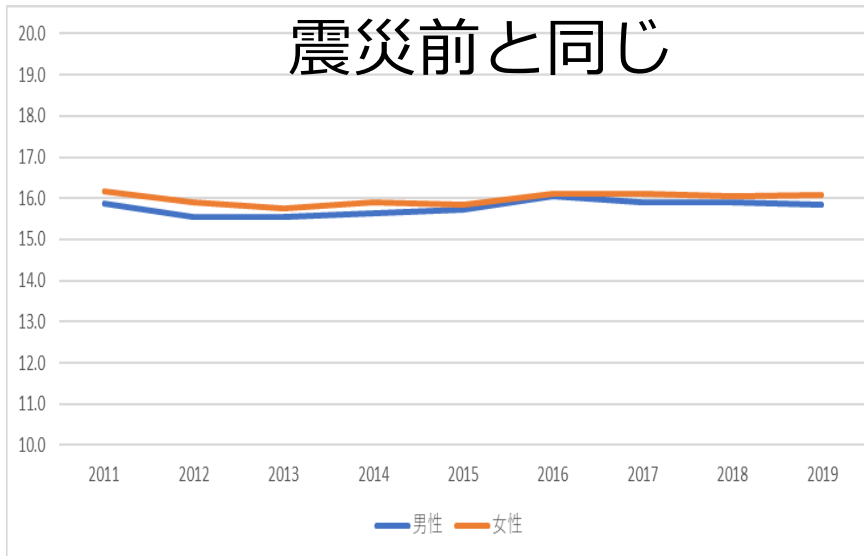
# 社会的支援の不足（粗率）

## Lubben Social Network Scale < 12点 (%)



(※全国値なし)

# ソーシャルキャピタル 設問4項目総得点 (周囲の人々の助け合い, 0-20点)



(※全国値なし, 該当者割合ではなく平均得点, 縦軸は10-20点)